

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【公開番号】特開2012-256422(P2012-256422A)

【公開日】平成24年12月27日(2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-055

【出願番号】特願2012-190866(P2012-190866)

【国際特許分類】

G 11 B 7/005 (2006.01)

G 11 B 7/0045 (2006.01)

G 11 B 20/10 (2006.01)

G 11 B 20/18 (2006.01)

【F I】

G 11 B 7/005 B

G 11 B 7/0045 Z

G 11 B 20/10 3 0 1 Z

G 11 B 20/18 5 3 4 A

G 11 B 20/18 5 7 0 F

G 11 B 20/18 5 7 2 C

G 11 B 20/18 5 7 2 F

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月16日(2012.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光ディスクに記録された情報を再生する光ディスク再生装置であって、

レーザー光を照射するレーザー光源と、

前記レーザー光を前記光ディスクに照射したときの反射光から得られる再生信号を所定の目標等化特性に等化する適応等化回路と、

前記適応等化回路の出力波形から2値化信号を生成する2値化回路と、

再生信号に同期したクロック信号と前記適応等化回路の出力波形の位相ずれ量を検出する位相ずれ検出回路と、を具備し、

光ディスクから情報再生を行う際は、得られる再生信号を前記適応等化回路を介して2値化回路に入力して情報再生を行い、

記録ストラテジを調整する際は、FIRフィルタである前記適応等化回路のN個の乗算器の係数値を順にC1からCNとしたとき、 $x(1 \times N, x: \text{整数})$ 番目の係数値Cxと $(N - x + 1)$ 番目の係数値C $(N - x + 1)$ とが等しくなるように補正をすることを特徴とする光ディスク再生装置。

【請求項2】

光ディスクに記録された情報を再生する光ディスク再生方法であって、

レーザー光を前記光ディスクに照射するステップと、

前記レーザー光を前記光ディスクに照射したときの反射光から得られる再生信号を、適応等化回路により所定の目標等化特性に等化するステップと、

前記適応等化回路の出力波形から2値化信号を2値化回路により生成するステップと、

再生信号に同期したクロック信号と前記適応等化回路の出力波形の位相ずれ量を検出するステップと、を備え、

光ディスクから情報再生を行う際は、得られる再生信号を前記適応等化回路を介して2値化回路に入力して情報再生を行い、

記録ストラテジを調整する際は、FIRフィルタである前記適応等化回路のN個の乗算器の係数値を順にC1からCNとしたとき、 $x (1 \times N, x:整数)$ 番目の係数値Cxと $(N - x + 1)$ 番目の係数値C $(N - x + 1)$ とが等しくなるように補正をすることを特徴とする光ディスク再生方法。

【請求項3】

光ディスクに記録された情報を再生する光ディスク再生装置であって、

レーザー光を照射するレーザー光源と、

前記レーザー光を前記光ディスクに照射したときの反射光から得られる再生信号を所定の目標等化特性に等化する適応等化回路と、

前記適応等化回路の出力波形から2値化信号を生成する2値化回路と、を具備し、

光ディスクから情報の再生を行う際、得られる再生信号を前記適応等化回路を介して前記2値化回路に入力して情報の再生を行い、

前記情報は、FIRフィルタである前記適応等化回路のN個の乗算器の係数値を順にC1からCNとしたとき、 $x (1 \times N, x:整数)$ 番目の係数値Cxと $(N - x + 1)$ 番目の係数値C $(N - x + 1)$ とが等しくなるように補正をし、再生信号に同期したクロック信号と前記適応等化回路の出力波形の位相ずれ量が最小となるように調整された記録ストラテジを用いて記録された情報である、光ディスク再生装置。

【請求項4】

光ディスクに記録された情報を再生する光ディスク再生方法であって、

レーザー光を前記光ディスクに照射するステップと、

前記レーザー光を前記光ディスクに照射したときの反射光から得られる再生信号を、適応等化回路により所定の目標等化特性に等化するステップと、

前記適応等化回路の出力波形から2値化信号を2値化回路により生成するステップと、を備え、

前記情報は、FIRフィルタである前記適応等化回路のN個の乗算器の係数値を順にC1からCNとしたとき、 $x (1 \times N, x:整数)$ 番目の係数値Cxと $(N - x + 1)$ 番目の係数値C $(N - x + 1)$ とが等しくなるように補正をし、再生信号に同期したクロック信号と前記適応等化回路の出力波形の位相ずれ量が最小となるように調整された記録ストラテジを用いて記録された情報である、光ディスク再生方法。